

10月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		13,411	95	13,507	73	137	82	71	0.5	北海道、青森、千葉産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道は太物の割合が少なく、出荷は前倒し傾向で10月の第4週には終了となる。青森は概ね生育順調で、前年並みの入荷となる。千葉は播種時期の天候不順の影響により、出だしの入荷量は少ない。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
はくさい		14,201	95	13,422	50	160	70	2	0.0	長野、茨城産中心で全体の約9割を占める。長野は生育概ね順調で、10月上旬～中旬にかけて入荷のピークとなる。肥大も良好で、前年並みの入荷量となる。茨城は平年通り10月上旬からの入荷となる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
キャベツ類		16,505	95	15,863	42	160	72	-	0.0	群馬、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。群馬は概ね生育順調で、入荷量は前年並みであるが、豊作だった前年よりは少なくなる。千葉は生育順調で、平年通り10月15日頃から入荷となる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
ほうれんそう		1,433	95	1,556	589	98	522	-	0.0	群馬、栃木、茨城、千葉産中心の入荷となる。関東産は8月播種したものに高温の影響で生育停滞が見られるが、9月以降に播種したものは概ね生育は順調に推移している。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格はほぼ前年並みとなる見込み。
ねぎ		5,762	100	5,746	291	91	264	549	9.5	青森、山形、秋田、新潟産中心の入荷となる。東北産は春先からの遅れが回復しない中、集中豪雨や台風被害等の影響により、一部で生育停滞、商品化率の低下がみられる。ただし、作付けが増加している産地があるため、全体の入荷量は前年並みとなる。価格は前年をかなり下回るものの前年並みとなる見込み。
きゅうり		6,213	98	6,148	273	104	278	44	0.7	埼玉、群馬、茨城、福島産が市況をリードする。関東産は急な気温低下の影響で出荷ペースが鈍っており、10月に入荷が遅れてくる。東北産は例年よりも収穫終了時期が早まる。全体の入荷量はほぼ前年並み、価格は前年やや上回る見込み。
トマト		5,968	98	6,244	528	80	422	-	0.0	千葉、茨城、青森産中心の入荷となる。千葉、茨城は高温の影響による着果不良、裂果、裂皮等の発生が見られ、入荷量は前年をやや下回る。東北産は7月の天候不順と台風の影響により、入荷量は前年より少なくなる。全体の入荷量はほぼ前年並み、価格は前年を大幅に下回るものの前年並みとなる見込み。